

地域企業が共に学び、モノづくり現場改善を高め合う発表・交流イベント

# 改善事例発表大会2026

## 関西地域

現場の知恵と挑戦が未来を拓く ~改善事例発表大会の開催に寄せて~

「もっと現場を良くしたい」という情熱をもとに、チームワークや現場の知恵と工夫を駆使した発表事例。本大会で発表されるみなさんの粘り強い取り組みや、発表に至るまで準備してきた挑戦に深く敬意を表します。活動から生み出される挑戦と成果は、まさに**日本のモノづくりの原動力**と言えます。

また、本大会は同業種・異業種・異分野から学べる貴重な**相互研鑽の場**でもあります。これまでにない気づきや発想を、自社での活動に活かしていただくことに期待しております。

昨今、**人手不足**や**DXの急速な進展**など、さまざまな環境変化がありますが、現場の創意工夫と人財育成こそが、日本のモノづくりの競争力の源泉です。本大会が日本のモノづくりの「**現場力**」をさらに高め、みなさんの成長と日本のモノづくりの明るい未来を切り拓く契機となることを確信しております。みなさんの一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会  
会長 河合 満  
(トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

### 改善事例発表大会の3つの特色

製造・保全の最前線の改善事例が集う発表大会です！

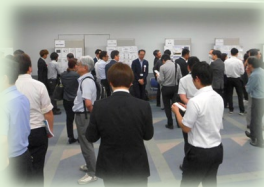
**1. 現場で“本当に効いた”改善事例から、実践力が高まる！**

→ 考え方・進め方・工夫のポイントを学び、**自分たちの現場で活かせる力**を養います。



**2. 発表者との交流で、現場を動かすヒントが得られる！**

→ 苦労や失敗も含めた生の話から、**具体的な行動につながる気づき**を得られます。



**3. 刺激が主体性を引き出し、現場力の好循環を生む！**

→ 他社事例が改善意欲を高め、**人と組織を成長させる現場力向上**につながります。

### 発表企業

企業名50音順  
法人格略

発表数：10社12事例！

旭化成 / 九州グンゼ / クボタ  
神戸製鋼所 / サカティクス  
サントリープロダクツ / シスメックス  
ダイキン工業 / 東レ / 日本製鉄

事例について直接質問ができる！  
発表者との交流会も開催します。

### 開催情報（関西地域）

**2026年6月12日（金）開催**  
**京都テルサ**

今大会の関西地域では、下記の発表傾向の特色がみられます



イベントの詳細・お申込みは、

**改善事例発表大会** 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間

発表情報

09:30▶ 開場・受付開始

10:00▶10:10 開会のあいさつ

事例 1	10:10 ▼	<b>運転・製造</b> 自主保全2.0 ～デジタルで加速する現場進化～	<発表キーワード>
	10:30	サントリープロダクツ株式会社 京都城陽工場 製造部門(製造第1) 包装D2グループ 豊嶋 純	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主保全</li> <li>● 作業の効率化・容易化</li> <li>● デジタル技術を利用した改善</li> </ul>
事例 2	10:30 ▼	<b>運転・製造</b> 12M オペレーターの作業負荷軽減	<発表キーワード>
	10:50	日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所 阪神地区 薄板部 堺薄板工場 冷延課 12M職場 竹原 勇樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業の効率化・容易化</li> <li>● 設備の管理方法・基準の見直し</li> <li>● 人財育成</li> </ul>
事例 3	10:50 ▼	<b>運転・製造</b> IJ補助剤製造工程におけるデジタル管理保証率の向上	<発表キーワード>
	11:10	サカタインクス株式会社 大阪工場 生産統括本部 品質保証部 山形 晋也	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質安定化・向上</li> <li>● 作業の効率化・容易化</li> <li>● デジタル技術を利用した改善</li> </ul>

11:10▶11:20 休憩

事例 4	11:20 ▼	<b>運転・製造</b> 大容器ライン容器搬送異常対策	<発表キーワード>
	11:40	シスメックス株式会社 小野工場 診断薬生産本部 第二生産部 製造課 一係 森位 司	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質安定化・向上</li> <li>● 安全</li> <li>● 改良保全</li> </ul>
事例 5	11:40 ▼	<b>運転・製造</b> 生産計画作成のアプリ内製開発による 生産計画作成作業のレス化	<発表キーワード>
	12:00	ダイキン工業株式会社 堺製作所 空調生産本部 堺製造部 平井 智史	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル技術を利用した改善</li> <li>● 作業の効率化・容易化</li> </ul>
事例 6	12:00 ▼	<b>運転・製造</b> インキ製造工程における リードタイム・エネルギーロスの削減	<発表キーワード>
	12:20	サカタインクス株式会社 滋賀工場 情報メディア事業部 製造部 滋賀製造グループ 水谷 悠佑	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境・省エネルギー</li> <li>● コストダウン</li> <li>● 作業の効率化・容易化</li> </ul>

12:20▶13:05 昼休憩(お弁当をご用意しております)

事例 7	13:05 ▼	<b>運転・製造</b> 編立工程の省エネ推進	<発表キーワード>
	13:25	九州グンゼ株式会社 工務一課 黒木 健二	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境・省エネルギー</li> <li>● 設備の管理方法・基準の見直し</li> </ul>
事例 8	13:25 ▼	<b>工務・保全</b> オイル分析を活用した状態監視保全へのシフト	<発表キーワード>
	13:45	ダイキン工業株式会社 淀川製作所 化学事業部 エンジニアリング部 設備管理グループ 飯銅 覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備の信頼性向上</li> <li>● 予防保全・予知保全</li> <li>● コストダウン</li> </ul>
事例 9	13:45 ▼	<b>工務・保全</b> 棒鋼工場 冷却床トラバーサ 走行駆動スプロケット取替時間短縮への挑戦	<発表キーワード>
	14:05	株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所 神戸線条工場 設備部 神戸設備室 松井 林太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業の効率化・容易化</li> <li>● 安全</li> <li>● 改良保全</li> </ul>

14:05▶14:15 休憩

事例 10	14:15 ▼	<b>工務・保全</b> 建機CABライン 前ドアのキズ0	<発表キーワード>
	14:35	株式会社クボタ 堺製造所 生産技術統括部 高田 洋聖	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質安定化・向上</li> <li>● 作業の効率化・容易化</li> </ul>
事例 11	14:35 ▼	<b>工務・保全</b> 工事票電子化による業務効率向上と業務量の見える化	<発表キーワード>
	14:55	旭化成株式会社 生産技術本部 設備技術センター 守山設備技術部 守山電計技術課 新村 和也	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル技術を利用した改善</li> <li>● 作業の効率化・容易化</li> <li>● 改善活動の水平展開</li> </ul>
事例 12	14:55 ▼	<b>工務・保全</b> RAYBRID ペーストゲル化に伴う設備管理強化	<発表キーワード>
	15:15	東レ株式会社 滋賀事業場 工務部 工務保全課 笠 景一朗	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備の管理方法・基準の見直し</li> <li>● 改良保全</li> <li>● 予防保全・予知保全</li> </ul>

15:15▶15:25 休憩

15:25▶16:10 発表者との交流会

16:15▶16:30 全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介

16:30▶16:45 表彰式

<p><b>事例 1</b></p>	<p><b>自主保全2.0 ～デジタルで加速する現場進化～</b>                  サントリープロダクツ株式会社                  京都城陽工場                  製造部門(製造第1) 包装D2グループ  <b>豊嶋 純</b></p> <p>自主保全活動の中で、PET充填機の停止削減・品質不良ゼロ化を目指し活動を進めてきた。自主保全の良さである『コツコツ確実に』と、デジタルによる『さらなる進化』を組み合わせ、これまでにない新しい自主保全のカたちをつくり上げた事例を発表する。</p>	<p><b>事例 7</b></p>	<p><b>編立工程の省エネ推進</b>                  九州グンゼ株式会社                  工務一課  <b>黒木 健二</b></p> <p>EMSを活用してエネルギー使用状況を見える化し、ムダ・ロスを特定。一人一人の省エネ意識向上と現場改善活動により、エネルギー単位の低減を実現した事例を発表する。</p>
<p><b>事例 2</b></p>	<p><b>1ZM オペレーターの作業負荷軽減</b>                  日本製鉄株式会社                  瀬戸内製鉄所 阪神地区                  薄板部 堺薄板工場 冷延課                  1ZM職場  <b>竹原 勇樹</b></p> <p>社内配転者受入れをきっかけとして、ライン作業性の課題が多数浮き彫りとなった。そこで作業負荷軽減、作業安全性向上、技能伝承を目的とし、多数のシステム変更を迅速に完遂するため、工場・整備の部門を超えた合同サークルとして活動を行った事例を発表する。</p>	<p><b>事例 8</b></p>	<p><b>オイル分析を活用した状態監視保全へのシフト</b>                  ダイキン工業株式会社                  淀川製作所 化学事業部                  エンジニアリング部                  設備管理グループ  <b>飯銅 寛</b></p> <p>過去に減速機の突発故障により大きな機会損失を発生させたことから、オイル分析による状態監視で突発故障の防止に取り組んでいる。本発表では、オイル分析を活用する業務フローを構築していく中で出た課題に対し、工夫した事例とその成果について発表する。</p>
<p><b>事例 3</b></p>	<p><b>J補助剤製造工程におけるデジタル管理保証率の向上</b>                  サカタインクス株式会社                  大阪工場                  生産統括本部 品質保証部  <b>山形 晋也</b></p> <p>J補助剤製造工程の人依存作業をデジタル化し、誤発行・入力ミス・判定漏れを防止。自動照合と自動判定により品質保証を強化した取組みを発表する。</p>	<p><b>事例 9</b></p>	<p><b>棒鋼工場冷却床トラバーサ                  走行駆動スプロケット取替時間短縮への挑戦</b>                  株式会社神戸製鋼所                  加古川製鉄所 神戸線条工場                  設備部 神戸設備室  <b>松井 林太郎</b></p> <p>設備老朽化に伴うリスク評価を実施した結果、改善すべきと判断し、着手した。改善においてはありがたい姿に近づけるべく、グループの英知を結集し、試行錯誤しながら最終的に替え歯式という独創的な改善が出来た事例を発表する。</p>
<p><b>事例 4</b></p>	<p><b>大容器ライン容器搬送異常対策</b>                  シスメックス株式会社                  小野工場                  診断薬生産本部 第二生産部                  製造課 一係  <b>森位 司</b></p> <p>大容器ラインで多発していた搬送異常の要因を解析し、摩擦低減や把持力強化など多面的な改善を重ね、継続的な検証と協働を通じて設備停止を招くエラーを完全に解消し、大きな成果を挙げた事例を発表する。</p>	<p><b>事例 10</b></p>	<p><b>建機CABライン 前ドアのキズ0</b>                  株式会社クボタ                  堺製造所                  生産技術統括部  <b>高田 洋聖</b></p> <p>私たちは生産技術開発や拠点の設備製作の支援などを担当し、クボタの生産性向上に寄与している。今回の活動は製造ラインの設備起因で品質不良があり、技術的に解決が難しい問題を私たちで改善活動を行い、目標を達成することができた事例を発表する。</p>
<p><b>事例 5</b></p>	<p><b>生産計画作成のアプリ内製開発による生産計画作成作業のレス化</b>                  ダイキン工業株式会社                  堺製作所                  空調生産本部 堺製造部  <b>平井 智史</b></p> <p>金岡工場では、繊細な生産計画の作成が必須となっている。この作業は工数が多くかかるほか、生産計画作成作業が可能な作業者が限られている。この問題に対して、生産計画作成アルゴリズムの開発、アプリケーションの作成により工数削減と作業標準化を実現した事例を発表する。</p>	<p><b>事例 11</b></p>	<p><b>工事票電子化による業務効率向上と業務量の見える化</b>                  旭化成株式会社                  生産技術本部                  設備技術センター                  守山設備技術部 守山電計技術課  <b>新村 和也</b></p> <p>従来、工事安全管理に不可欠な「工事票」を紙へ印刷し、捺印して作成していた。Power Apps・Automate・BIを用いたアプリを開発することにより、帳票の電子化・業務量の見える化を実現し、業務効率向上を達成した事例を発表する。</p>
<p><b>事例 6</b></p>	<p><b>インキ製造工程におけるリードタイム・エネルギーロスの削減</b>                  サカタインクス株式会社                  滋賀工場                  情報メディア事業部                  製造部 滋賀製造グループ  <b>水谷 悠佑</b></p> <p>インキ製造工程のリードタイムを短縮して当日仕上げを実現。エネルギーロスを含む関連ロスの削減につなげた事例を発表する。</p>	<p><b>事例 12</b></p>	<p><b>RAYBRID ペーストゲル化に伴う設備管理強化</b>                  東レ株式会社                  滋賀事業場                  工務部 工務保全課  <b>笠 景一郎</b></p> <p>タッチパネル材料の製造工程で発生した、ペーストゲル化トラブルの原因究明し、恒久対策を実行。さらに関係各部署との設備管理への意識統一、連携強化により再発防止に向けた体制を構築。全設備へ水平展開し、安定生産に貢献した事例を発表する。</p>

# 改善事例発表大会2026は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月19日(金)	仙台市中小企業活性化センター
関東	6月25日(木)	曳舟文化センター
北陸	6月30日(火)	富山国際会議場
中部	5月22日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月12日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月19日(金)	広島県情報プラザ
西日本	6月17日(水)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイト [をご覧ください](https://info-jipm.jp/event/kaizen/) <<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

## 参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト <<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>  
の“参加お申込み”から



### 参加料（10%税込み価格）

通常価格		自主保全士 優待価格※2		TPM経営者懇話会 会員価格
会員※1	一般	会員※1	一般	※3
19,250円	25,850円	9,900円	14,300円	<b>ご招待</b>

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です  
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください  
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>  
・一般社団法人 日本能率協会  
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 自主保全士優待価格の適用は、自主保全士検定試験（試験日：2025年10月26日）にて合格された方が対象となります
- ※3 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

**会員以外の方は、この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください**

### 参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく**受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付**いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、**本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込み**ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の**請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付**いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定  
**開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額**  
**※2026年6月3日(水)よりキャンセル不可**  
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします  
<<https://info-jipm.jp/contact/>>  
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項  
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて  
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

## お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp